

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

文化通心

2017
秋

9月1日発行(季刊)



島遊び・MEGIめきめき

高松港の目の前にある女木島。赤いかわいいフェリーの「めおん2」に乗って20分。夏の海水浴だけじゃない女木島の遊びの企画です。魚釣りやピザ作り体験。和菓子作りや気軽なお茶の体験など盛り沢山の一日。普段は静かな島が賑わった初夏の一日でした。今年度の助成事業のひとつをご紹介します。(4頁に関連記事)

第三回 あ・うんの数寄講座 茶の湯をさらに楽しむ夏期講習
平成二十九年財団助成事業 MEGIめきめき
9月から11月までの茶華道・イベント情報
財団のお知らせ

95

発行・公益財団法人中條文化振興財団
〒760-0017高松市番町2丁目1番12号
TEL. (087) 826-3355 FAX. (087) 826-2212

第三回 あ・うんの数寄講座 茶の湯をさらに楽しむ夏期講習

暑かった夏もそろそろ終わります。今年も選りすぐりの講師をお迎えしての財団の夏期講習を開催いたしました。今回は、最初の三回のお話を簡単にまとめさせていただきます。讃岐漆芸研究の第一人者、住谷晃一郎氏。京都の老舗瓢亭の当主、高橋英一氏。武者小路千家幹部職分格、芳野宗春氏。一口に茶の湯の勉強と言っても、そのジャンルは多岐に渡ります。普段はお点前や作法のお稽古で大変ですが、知識の幅を広げる努力を重ねて、より深い楽しみ方が出来るようになると良いですね。

■第一回 七月二十二日(土)

「玉楮象谷ヒストリー」

講師：住谷晃一郎(香川県文化振興課)

美術コーディネーター

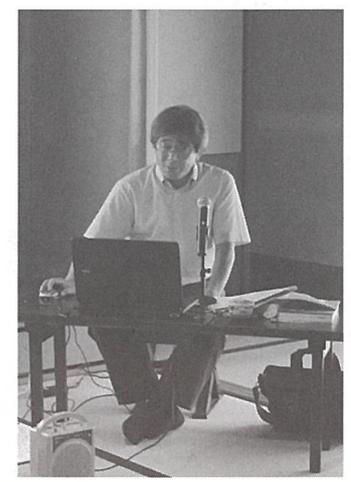
第一回は、象谷研究の第一人者として名高い、香川県文化振興課美術コーディネーターの住谷晃一郎先生から「玉楮象谷ヒストリー」と題したお話を、スライドを見ながら伺いました。

讃岐香川漆芸の祖と敬われる玉楮象谷は、江戸後期に刀剣の鞘塗師の藤川家に生まれ、高松九代藩主・松平頼恕より帯刀を許され、玉楮の姓を賜ったのを機に、自らの技を藩公認の「讃岐塗」にブランド化させていった過程の紹介は、高松市美術館より道一筋北側にあった当時の住居の様子から始まりました。その頃、平屋建築が常だった時代にも拘わらず、乾燥場の必要性から一部二階建てが許されたりしく、後世に、象谷屋敷を買い取って住んだ矢野某の子供たちの記憶再現パース図が写し込まれました。職人たちを束ねて生き生きと働く象谷の製作現場を垣間見る思いがありました。

また、中央公園南側の象谷のブロンズ座像(郷土の彫刻家・新田藤太郎作)作成に当たって確たる写真もなく、作者は象谷の親類を訪ね歩いて観察した子孫の男顔から容貌をイメージしたという、郷土の美術界重鎮が時空を超えて対峙した逸話の披露など、讃岐高松が色めいて親近感満載の導入話です。

象谷は、京都の陶工・永楽善五郎(保全)の知遇を得て、東本願寺や大徳寺に伝来する堆朱、堆黒など唐もの漆器を見聞する機会に恵まれ、中国舶来の彫漆、存清の技法を習得し、さらに、南方渡来の漆芸・蒔醤を再現させ、讃岐三技法の礎を築きます。

足跡の披歴は、松平家に伝わる重要美術品指定の名品を中心に、大名家のたしなみであった能楽の鼓箱、さまざまな茶器、武門の矜持を象徴した鐙や轡など、中でも、彼の出世作となった、蓮池の周辺に息づく九百九十九の動植物を彫り出した一角印籠には会場から感嘆の声が上がったほど、精緻を極めた象谷の技のオンパレード。



また、京都興正寺門跡の依頼によるひちりき筥、彦根藩主井伊直弼の求めに応じた彩色蒔醤水指棚、松平家と親交のあった大名家への進物品にした松ヶ浦香合、北野天満宮に奉納した手向山香盒など、製作日記「御用留」と照らし合わせた代表作の紹介が続く、映像に讃岐の背景を重ねた講師の巧みな説明は、さながら工芸美が語る郷土の歴史、それが一層の親しみ感、身近感になっていったようでした。講座終了後に、茶道具に大変ご造詣の深い高畑昭さんから面白い質問がありました。「後世の売り立て(入札)記録には落札価格がありますが、殿さんの求めに応じての作品、リアルタイムの礼金値段はどうだったんでしょうね」と。

まあ、殿の側近が値踏んでの御下賜金でしようけれど、文献に数字は見当たりません、とか。さあ、名だたる象谷ブランドの価値を高めるためにお城がお気張りやっしたのか、藩の財政とにらめっこして特別価格になったものか、いろいろ芸術作品が流転のうちに高額取引を繰り返すことを思うと何やら興味深い想像も……。はるか江戸の世を彩った讃岐漆芸の余韻を楽しんだ講座でした。(妹尾共子)

■第二回 七月二十三日(日)

「京の食文化ー私のこだわり」

講師：高橋英一(京都・南禅寺畔 瓢亭)

十四代当主

二回目の講師は、瓢亭 十四代目主人高橋英一先生です。瓢亭と言えば四百年ほど前に京都 南禅寺境内で茶屋として創業され、一子相伝の瓢亭玉子や朝粥などが名物でミシュランガイドブックでも三ツ星を獲得された名料亭です。ご自身は京都府指定無形文化財保持者でもあり生涯現役を掲げ十五代目の息子様と共に京料理を牽引し活躍されております。

京都の呉服(西陣織)から始まり、子供の頃は鴨川の色が変わるくらい盛んであったこと、「現代では着物を着て歩いていく方ほとんどが外人さん」と笑いでいききました。食文化の話に入り、野々村仁清、尾形乾山など色絵の話、粘土質の良い粟田焼、そして漆器類に使われる漆、一時期は安い中国産の漆が使われていたそうですが、現代はやっぱり国産が良いということ木を植樹し漆を京都周辺で作っているそうです。

また、お椀などの木地をひく技術、保温効果、丈夫さ、薄いの熱くならない使い勝手など説明くださり、京都の漆器の雅やかさが料理を引き立てているとの

事でした。

お菓子の話に移り、京都のお菓子は甘
いけどどくどくない。その理由の一つがあ
く抜きの技術、抽象的な形で銘を聞き
「なるほど」と納得する大事さ楽しさを
伝えてくたさる、最後に京料理の本題に
入りました。

先生曰く、京料理は京都の郷土料理、
河の物はあるが海の新鮮な物がなく、回
りの海から取り寄せそれを上手に使って
いく各家庭で代々受け継がれてきた料理
が基礎になって有職料理、精進料理、懐
石料理、おぼんざい料理に発展している
そうです。

有職料理といえは宮中で食されていた
料理、木地で作られた島台に松など飾り
蓬菜盛で盛り付けられたものが代表的で
現在では、萬亀楼で有職美として残って
おり、お願いすると頂くことができるそ
うです。

精進料理は寺院仏閣が非常に多い京都
で生臭物を一切使わず、その年に採れた
山菜などを上手に保存し全く違う季節に
味わうのが特徴。水などで戻し、その戻
し汁を使って炊き上げることで香りが良
くなり、歯ごたえも良くなり、その時期
に食べるものとは全く違う味わいを楽し
むことができます。

懐石料理ではいかに日本の食文化が進
んでいったかといったお話をされました。
ルールにのっとり一品ずつ出されお箸で
いただく、このことが四百年前には行わ



れていて、フランスでもまだその頃は手
で食事をされていたそうです。

最後に町衆からのおぼんざいですが、
北海道からの航路によって棒鱈、鯨、昆
布、数の子などいろいろなもの京都の
町に入ってきたことが大きく関わりま
す。ちなみに舞妓さんがつけている京紅も東
北から航路によって入ってきたそうです。

そういった乾物で生まれた代表的なもの
が芋棒です。カチンカチンに干された棒
鱈を一週間くらいかけて戻して炊くそう
です。鯨はニシンそばが有名です。

私が興味深く感じた話は数の子の子の話で
すが、我々が良く目にする数の子ではな
く、カチンカチンに干した数の子がある
そうで、それを戻して使うと香りも良く
何より触感が全然違うそうで食べてみた
く思いました。

また、若狭から乾物だけでなく、鯖、
ぐじ、小鯛、松葉鱈など若狭物と言われ
るものが入ってきました。その荷物が最
後に下ろされるのが祇園町で、いづかの
鯖寿司は私も好物です。

最後に京野菜です。夏野菜、冬野菜と
分けられこの時期は加茂茄子が美味しい
です。この京野菜ですが昭和六十二年に
京都府が十七品目三十四種を伝統野菜と
して登録しましたが初めは見向きもされ
なかつたそうです。そして、一つとして

京都で生まれた野菜はなく、他府県から
持ち込まれ気候風土によって美味しくな
った野菜だそうです。聖護院かぶらの原
種は大阪の天王寺かぶら。信州にもこの
天王寺かぶらが持ち込まれ、できたのが
野沢菜だそうです。先祖が同じでも環境
によって別の物のようになってしまう面
白さなど興味深いお話でした。

スライドで料理と器の話もしていただ
き大変有意義な講演会でした。時間のた
つのも忘れ先生の優しい声から放たれる
料理に対する情熱を感じ生涯現役に挑む
強い覚悟を感じ、私も精進しさらに邁進
していきたいと思えます。(山本 亘)

■第三回 七月三十日(日)

「日本の歳事としきたりを楽しむ」

講師：芳野宗春(武者小路千家幹部職分格)

芳野家 三代当主

「歳事とは季節ごとの行事で、旧暦でお
こなわれています。一・二・三月が春、
四・五・六月が夏、七・八・九月が秋、
十・十一・十二月が冬でした。また、ひ
と月は二十八日周期で数えられていたの
で四年に一度、閏年を入れて調整をして
いました。そして、お茶と季節とは切り
離せないもの、行事は身分や日付けでき
まっています」とお話しを始められま
した。

お話しの内容を月を追って記します。

十二月十三日【事始め】この日が一年
の始まりとし、習い事の師匠に贈り物を
持つてご挨拶をしに行く、これがお歳暮
と言われるもので、いただいた側は少し
のお返しをするのが礼儀となっている。
その後、年神様をお迎えするための大掃
除をし、二十五日に正月飾りを準備し、
三十日に飾り付けをする。しめ縄はきれ
いになったしるしで、門松は年神様が目
指してこられるものなので、非常に大切
なものである。三十一日は籠っておせち
料理をつくる。これは、神様のための食
事であり、その残りで雑煮をつくる。そ
して、神様をお迎えするのだから、お箸
を始め下着やら着る物なども新しく整え
る、いわゆる晴れ着です。

一月一日【年明け】その年の恵方にあ
る神社に初詣に行く。松の内は十五日
までで、その後、年神様をお送りすると
んど焼きがあり、飾り付けたしめ縄やお
箸などを持つていく。

二月【ついな式】三日いわゆる節分の
豆まきがあり翌日が立春。一日から十二
日までの間で針供養もおこなわれる。ま
た、伏見稲荷の土を持ち帰り、田んぼや
家の土台に入れたりする。

三月【ひな祭り】これは、ままごと遊
びに由来するもので、ひな飾りで迷うこ
とがあるが、左側が上席とする。

四月【お花見】稲が良く穫ことを願う
行事で、ご馳走を持って、桜の花の下で
にぎやかに過ごし、神様をもてなすのが
本来の意味。

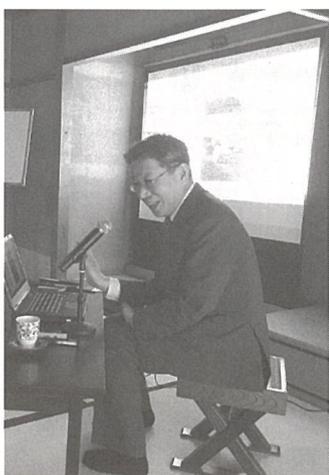
六月【夏越しの祓い】半年の汚れを祓
い落とす行事で、茅の輪くぐりは町人の
祭り、決して逆から回ったり、輪の一
部分などしないこと。二十八日には建具
の入れ替えをする。ちなみに京都では、
畳と建具の寸法はすべて同じであり、ど
こでも使えるようになっていく。

七月【祇園まつり】病よけの祭りで、
ささの葉で作られた粽(お餅を包んだ食
べられる物ではない)を受けて家に持ち帰り
門や玄関の外側に吊るす。

「基本的に、日本の行事は神迎え・神送
りとなっている。家の中には常在神がお
られる。それは、台所・便所・馬牛舎で
あり、こころしてきれいにしておかなけ
ればいけない。茶の湯の世界では、今も
習慣としてしきたりや行事が残っていて、
生活のリズムを変えないでいる。生活文
化は日々の生活に潤いをもたらすもので
す」とお話しを締めくくられました。

残りの月の歳事のお話しも是非お聞
きしたいと受講された皆様の希望の声が
ありました。

(千葉規美子)



平成二十九年財団助成事業

MEGGIめきめき

平成二十九年六月十八日(日)、女木島の人たちとの交流を楽しむ「さぬき伝統工芸in女木・MEGGIめきめき」を開催しました。梅雨の最中ではありましたがお天気にも恵まれ、たくさんの方に「ご参加いただきました。」(鬼ヶ島文化村MEGGIめきめき実行委員会)

瀬戸内の海に面してひらけた高松市は古くから島嶼部との交流が盛んで、特に、男木、女木の島々に住む人には、定期船の就航便の多さから就学や通勤の圏内になり、市街地での買い物や通院にも便利な所になつてきました。逆に、訪れる人々には、わずかな所要時間で豊かな自然や島なれば



この物産や美味を楽しめる観光レジャー地として島の魅力が満喫でき、近隣県のみならず、外国からのお客さまを迎えて賑わうようになりました。

「鬼ヶ島文化村」は、そんな機運にも一つ、女木島の人々との一体感を深めて、お互いの交流の場として文化教室の開催などをしてきましたが、この度、その一環として、島内外の人々と一緒に、さぬきの伝統工芸作品作りを通して郷土の伝統文化再認識を図りつつ島の人々との交流を深める「さぬき伝統工芸まつりin女木・MEGGIめきめき」を企画実施しました。

内容は、ワークショップに和裁の「手縫い小物」、鬼ヶ島にちなんで「鬼瓦・竹とんぼの絵付けや「鬼のオーナメント」、造形的な「立体折紙」、戸外や屋内二か所での「絵手紙」、夏向けの「ミニ盆栽」、それから、女木の人による手ほどき体験では、花の写生「花の絵手紙」、八幡さまの境内で「ゲートボール」、太公望気分「魚釣り」、花を咲かせた「折紙」、港から鬼の大洞窟まで「女木島歴史話」。さらに、季節感に女木色を加味した茶席も、徳永邸での「立礼」「座礼」席、中條茶室の「山の茶



室」「海の茶室」席、抹茶と和菓子体験は「オレンジハウス」席、愛知県立芸術大学セミナーハウスでは「MEGGI HOUSE」席、イアラ女木島の「英国紅茶」席と多彩に用意し、お昼の点心にも「焼きとうもろこし体験」「ヤングコーンのご飯」「たこ飯」や「鯖の混ぜ寿司」席、加えて、体験的な「ピザ作り」「鯖の押し抜き寿司」席など、たくさんブースや女木土産販売所も設け、みなさまお迎えの準備を整えました。

当日まで、会場探し、担当の先生方と一緒に下見、あるいは、もうひとひねりの打合の追加など何度も女木島に足を運び、「やあ、これで」と思いきるまでにはたくさん試行錯誤の思いがありました。島ならではの仕事も一つ、フェリーの予約に戸惑ったりしました。船の搭載車両数制限や定期船なので一度に過剰な予約は難しく、時間差攻撃みたいな乗用車運びの離れワザ駆使もありました。それでも、快く担当をご承諾いただいた講師の先生方、茶

財団行事予定

(九月～十一月)

九月

◆書道教室 毎月第一・第三金曜日
森本義人先生

九月一日・十五日(金)午前十時～十二時

◆懐石講座 三友居 山本勝先生

九月五日(火)午前十一時～午後三時

◆和菓子講座 高橋初乃先生

九月八日(金)午前十時～十二時

◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)

山下純子先生

九月十六日・三十日(土)午後一時～

月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

九月十九日(火)午前十時～午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆九月月釜 五人様茶会

日時 九月二十四日(日)

◆ 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)

濃茶 石州流浮瓢会高松支部

煎茶 安部流 高橋宗初

茶席 濃茶・煎茶・点心席

会費 五千円

入席時間ご案内(各席二時間十五分を予定)

第一席 A席・B席 九時

第二席 A席・B席 十時三十分

第三席 A席・B席 十一時十五分

第四席 A席・B席 十二時四十五分

第五席 A席・B席 十四時十五分

十月

◆財団賞授賞式 助成金交付団体認定書授与式

十月二日(月)午前十時三十分

◆書道教室 毎月第一・第三金曜日

森本義人先生

十月六日・二十日(金)午前十時～十二時

◆十月月釜 五人様茶会

深まりゆく秋の一日をお楽しみください

日時 十月八日(日)

茶 華 道 ガ イ ド

安部流洗心会四国支部 ☎(0877)86-3442

9/10 栗林公園月釜 席主：安部流洗心会四国支部
栂月亭 前売600円・当日700円 9:00~15:00

表千家同門会香川県支部 ☎(087)845-4638

9/10 東讃四季茶会 席主：真子宗博
中條文化振興財団 600円 9:00~15:00
9/17 表千家西讃茶会 席主：表寿会
観音寺働く婦人の家 600円 9:00~15:00
11/5 東讃四季茶会 席主：大山宗美
中條文化振興財団 600円 9:00~15:00

香川大学表千家流茶道部 ☎(090)7629-4659

9/17、10/15、11/19
月釜 龍光塾 500円 9:00~14:00

琴平月釜茶道会 ☎(0877)58-9551

9/24 琴平町松尾寺月釜 席主：田中宗武
松尾寺 500円 9:00~15:00
10/10 金刀比羅宮例大祭 奉祝奉賛茶会
席主：田中宗武、片桐宗恵、上杉宗邦、宮武宗隆
アクト琴平 200円 10:00~15:00
11/19 琴平町文化祭 席主：山下教子、竹井恵子
アクト琴平 200円 10:00~15:00

茶華道一茶流久松会 ☎(087)881-1313

11/12 一茶流久松会茶と花会 席主：角陸一彩
玉藻公園披雲閣 1,300円 9:00~14:30

茶道真千家淡交会香川支部 ☎(0877)62-0798

9/24 坂出分会 月釜 席主：北地社中
勤労福祉センター 500円 10:00~14:00
9/24 善琴分会 月釜 席主：田中宗武
松尾寺 500円 9:00~15:00
10/4 多度津分会 観月茶会 席主：多度津分会
町民会館2Fホワイエ 300円 17:30~20:00
10/10 善琴分会 金刀比羅宮例大祭 席主：善琴教授者
アクト琴平 200円 10:00~14:00
10/22 坂出分会 月釜 席主：口入田社中
翠松閣 500円 10:00~14:00

11/3 坂出分会 文化の茶会 席主：宮本宗公
翠松閣 500円 9:30~15:00
11/3 善琴分会 普通寺文化のまつり 席主：普通寺教授者
鉢伏ふれあい公園茶室 300円 10:00~15:00
11/5 多度津分会 芸術展茶会 席主：多度津分会
町福祉センター2F 500円 9:00~15:00
11月 善琴分会 月釜 席主：善琴会
樟蔭軒 500円 9:00~14:00
11/19 観音寺分会 観音寺市文化祭 観音寺教授会
働く婦人の家A班 500円 10:00~15:00
11/26 坂出分会 月釜 席主：北山宗明
勤労福祉センター 500円 10:00~14:00
11/26 善琴分会 護国神社新嘗祭
席主：普通寺教授者(献茶：山下宗由)
護国神社 500円 10:00~15:00

茶道真千家淡交会高松支部 ☎(087)861-3136

9/3 淡交会高松支部 月釜 席主：山本宗佳
中野天満宮天神会館
前売600円・当日700円 9:00~15:00
10/1 淡交会高松支部 月釜 席主：北村宗純
中野天満宮天神会館
前売600円・当日700円 9:00~15:00
10/1 子ども茶会
席主：淡交会高松支部学校茶道連絡協議会
中條文化振興財団 400円 10:00~13:00
11/5 淡交会高松支部 月釜 席主：岡宗久
中野天満宮天神会館
前売600円・当日700円 9:00~15:00

茶道石州流琴松会 ☎(087)888-5311

10/15 静風会茶会副席 席主：岸宗源
長尾寺 1,200円 9:00~15:00
11/23 創立記念茶会
本席席主：黒川宗好・岸宗源 副席席主：琴松会
玉藻公園披雲閣 1,100円 9:00~15:00

石州流讃岐清水派石州会 ☎(087)898-6569

10/22 宗関公345年祭記念茶会 席主：片山宗美社中、
安西宗登・大上宗喜・中浦宗志・宮武宗美社中
玉藻公園披雲閣 1,100円 9:00~15:00

11/12 栗林公園月釜 席主：金丸宗洋
栂月亭 600円 9:00~15:00
11/19 由佐城月釜茶会 席主：金澤宗保
香南歴史民俗郷土館2F
前売400円・当日500円 9:30~14:00

東讃茶道懇話会 ☎(087)898-0391

11/19 月釜 席主：裏千家 大社レイ子
池辺西徳寺 600円 9:00~15:30

武者小路千家香川旬休会 ☎(087)851-2258

<香川旬休会月釜> 無量寿院 600円 9:00~15:00
9/10 席主：竹井恵子
11/5 席主：古市千秋

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎(087)879-0717

<由佐城月釜茶会>

第2研修室(和室) 当日500円 9:30~14:00
9/17 席主：片山美子(煎茶道三笑亭真茶流 松岡愛子社中)
10/15 席主：川原宗洋(裏千家)
11/19 席主：金澤宗保(石州流讃岐清水派石州会)

栗林公園観光事務所 ☎(087)833-7411

9/16~18 第6回秋の高校生大茶会 栂月亭他2会場
当日400円(入園料別途必要) 9:00~15:00

中條文化振興財団 ☎(087)826-3355

9/24 九月月釜 五人様茶会 5,000円
濃茶：石州流浮瓢会高松支部
煎茶：安部流 高橋宗初
10/8 十月月釜 五人様茶会 5,000円
濃茶：裏千家 中山宗満
薄茶：裏千家 高橋宗久
11/12 十一月懸釜 野村美術館茶会 20,000円

以上の茶会はいずれも点心席を含みます。
詳細は、財団行事予定・最終ページをご覧ください。

イ ベ ン ト ガ イ ド

坂出市教育委員会文化振興課 ☎(0877)44-5036

10/28 子どもお月見会 大橋記念図書館 18:00~
11/2 図書館で知ろう!! 宇宙ってどんなところ?
大橋記念図書館 19:00~
11/11 城山を探検しよう 城山周辺 時間・料金未定

坂出市民ホール ☎(0877)45-1505

9/3 第34回 坂出市民大学 12:30~
10/8、22、29、11/2、5、12、18、19、26
第59回 坂出市民芸術祭
催し物によって時間は異なる

坂出市民美術館 ☎(0877)45-7110

9/7~10 毎日児童生徒硬筆展 9:00~
9/15~24 てんざらばさら絵画展 9:00~
9/15~24 アル・ブリュット ふしぎなたね2017
9:00~
10/7~29 現代童画の世界展2017 9:00~
11/11、12 MOA美術館中讃児童作品展 9:00~
11/15~19 香川県高等学校総合文化祭写真展 9:00~
12/2~10 第55回 坂出市民芸術祭 9:00~
12/16、17 生活文化展 9:00~

鎌田共済会郷土博物館 ☎(0877)46-2275

10/28 「江戸中期の讃岐の名医 合田強」
-「解体新書」の以前に書かれた『紅毛医言』-
講師：板野俊文(香川大学名誉教授) 2階講堂
13:30~(先着40名、要事前申込 申込10/1~)

かまどホール ☎(0877)46-2178

9/2~24 日本新工芸四国会展(漆・陶・染) 10:00~
10/7~29 大黒・中山 日本画とステンドグラスコラボ展
10:00~
11/3~26 速水史朗展 10:00~

サクラトだつど(多度津町民会館) ☎(0877)33-3330

10/1 室内楽の調べ『プロムジカアンサンブル』14:00~
10/15 NHKのど自慢 11:45~★
(往復はがきでNHK高松放送へ申込 9/21締切)
10/22 第11回多度津フェスティバル 9:30~
11/3、5 第8回街角コンサート~音楽のついで~ 9:00~
11/11 DRUM-TAO-舞響~BUKYO~踊るWA太鼓2
18:30~

丸亀市文化観光課 ☎(0877)24-8822

9/2 第13回香川県文化協会西讃支部発表
まんのう町町民ホール 10:00~

丸亀市立資料館 ☎(0877)22-5366

9/16~10/1 武士の装い展 2F常設展示室 9:30~
10/14~12/8 丸亀藩最後の殿様 京極朝徳とその時代展
2F常設展示室 9:30~

あーとらんどギャラリー ☎(0877)24-0927

10/8~29 林孝彦展 10:00~
11/12~23 第2回クリスマス展 10:00~
12/3~24 豊沢英之+斎藤朋子+谷本久美子 展 10:00~

普通寺市教育委員会生涯学習課 ☎(0877)63-6328

10/14~22 第18回大西忠夫展 ~大西忠夫記念館の新しいコ
レクションを中心に~ 普通寺市美術館 10:00~
10/21~11/9 第34回普通寺市民文化祭 普通寺市民会館ほか

琴平町文化協会 ☎(0877)73-2655

<町立ギャラリーACTことひら>
~9/8 第2回琴平の祭り「獅子舞・太鼓台」写真展 9:00~
9/12~10/5 池田秋濤「詩と書」展 9:00~
10/10~11 金刀比羅宮例大祭奉賛 華展・お茶会 茶会
10/26~12/6 第36回琴平町文化祭(展示部門) 9:00~

三豊市文化協会 ☎(0875)56-6251

<三豊市文化協会文化祭>
11/25~26 作品展覧会 三豊市市民交流センター、
豊中町農村環境改善センター 9:00~
12/3 芸能発表会 マリンウェーブ 10:00~

わが家ギャラリー木きん堂 ☎(0875)63-4920

10/3~8 『クリスマスお正月小ものと布花』和布小もの、
アートフラワーの展示販売 9:40~
11/7~12 『古布を楽しむ・・・』着物リメイク服やバック、
小物などの展示販売 9:40~
11/14~19 『三豊盆栽木工会』イスなどの木工作品、針金
で作った盆栽作品の展示販売 9:40~

ハイスタッフホール ☎(0875)23-3939

<観音寺市民会館>

10/4 劇団四季ミュージカル「アンデルセン」
大ホール 18:30~
10/8 北原照久&熊本マリ トーク&ピアノコンサート
大ホール 14:00~
10/17~19 第7回観音寺国際音楽フェスティバル
17~19日 小ホール 19:00~、18日 ロビー 18:30~
22日 大ホール 13:00~
10/25 鼓動「打男DADAN2017」 大ホール 18:30~
12/13 古澤巖×ベルリンフィルハーモニーウィルトゥオーゾ
大ホール 18:30~

丸亀市立資料館 ☎(0877)22-5366

9/16~10/1 武士の装い展 2F常設展示室 9:30~
10/14~12/8 丸亀藩最後の殿様 京極朝徳とその時代展
2F常設展示室 9:30~

あーとらんどギャラリー ☎(0877)24-0927

10/8~29 林孝彦展 10:00~
11/12~23 第2回クリスマス展 10:00~
12/3~24 豊沢英之+斎藤朋子+谷本久美子 展 10:00~

普通寺市教育委員会生涯学習課 ☎(0877)63-6328

10/14~22 第18回大西忠夫展 ~大西忠夫記念館の新しいコ
レクションを中心に~ 普通寺市美術館 10:00~
10/21~11/9 第34回普通寺市民文化祭 普通寺市民会館ほか

琴平町文化協会 ☎(0877)73-2655

<町立ギャラリーACTことひら>
~9/8 第2回琴平の祭り「獅子舞・太鼓台」写真展 9:00~
9/12~10/5 池田秋濤「詩と書」展 9:00~
10/10~11 金刀比羅宮例大祭奉賛 華展・お茶会 茶会
10/26~12/6 第36回琴平町文化祭(展示部門) 9:00~

三豊市文化協会 ☎(0875)56-6251

<三豊市文化協会文化祭>
11/25~26 作品展覧会 三豊市市民交流センター、
豊中町農村環境改善センター 9:00~
12/3 芸能発表会 マリンウェーブ 10:00~

わが家ギャラリー木きん堂 ☎(0875)63-4920

10/3~8 『クリスマスお正月小ものと布花』和布小もの、
アートフラワーの展示販売 9:40~
11/7~12 『古布を楽しむ・・・』着物リメイク服やバック、
小物などの展示販売 9:40~
11/14~19 『三豊盆栽木工会』イスなどの木工作品、針金
で作った盆栽作品の展示販売 9:40~

ハイスタッフホール ☎(0875)23-3939

<観音寺市民会館>

10/4 劇団四季ミュージカル「アンデルセン」
大ホール 18:30~
10/8 北原照久&熊本マリ トーク&ピアノコンサート
大ホール 14:00~
10/17~19 第7回観音寺国際音楽フェスティバル
17~19日 小ホール 19:00~、18日 ロビー 18:30~
22日 大ホール 13:00~
10/25 鼓動「打男DADAN2017」 大ホール 18:30~
12/13 古澤巖×ベルリンフィルハーモニーウィルトゥオーゾ
大ホール 18:30~

イベントガイド

香川県立ミュージアム ☎(087)822-0247

- ～9/24 銀齋社とその時代 常設展示室2 9:00～●
- ～10/1 アートコレクション 20世紀の美術Ⅰ 常設展示室2 9:00～●
- 9/12～12/3 古い道具と昔のくらし 常設展示室1 9:00～●
- 10/3～12/24 アートコレクション 20世紀の美術Ⅱ 常設展示室2 9:00～●
- 10/7～11/26 讃岐びと、時代を動かす一地方豪族が見た古代世界ー 特別展示室他 9:00～●
- 10/29 シンポジウム「地域から見る古代史の可能性」 講堂 13:30～■ (要事前申込)
- 11/5 フリーワークショップ「古代のラゲッジタダ(荷物札)ー付札木簡づくり」 ※材料がなくなり次第終了 西ロビー 10:00～●
- 11/11 コンサート「音で楽しむ、昔のおはなし」 図書コーナー 13:30～■
- 11/12 シリーズ講座③「讃岐びとの行く末 次の時代への展開」 研修室 13:30～■ (要事前申込)

<瀬戸内海歴史民俗資料館>

- ～9/10 香川のお宝 民俗資料蔵出し展 9:00～■
- 9/23～12/17 さぬき育樹ものがたり 9:00～■

高松市美術館 ☎(087)823-1711

- 9/9～10/15 没後45年 錦木清方展 9:30～●
- 10/22～11/26 高松コンテンポラリーアート・アニュアル展vol.06 9:30～●

高松市歴史資料館(サンクリスタル高松) ☎(087)861-4520

- ～H30.3/25 学習室展「讃岐の方言を料理(デザイン)する」 9:00～●
- 11/3～12/24 収蔵品展「戦国時代の高松市」 9:00～●

菊池寛記念館 ☎(087)861-4502

- 9/16～10/22 菊池寛記念館第26回文学展「没後90年 芥川龍之介ーその青春と友情」 4階企画展示室 9:00～●
- 特別講演会①「時代を拓く芥川龍之介」 講師: 関口安義 (都留文科大学名誉教授) 3階視聴覚ホール 14:00～■ (先着200人)
- 9/24 特別行事 芥川龍之介作品朗読会「羅生門」「藪の中」 出演: NHK高松放送局アナウンサー・キャスター 3階視聴覚ホール 14:00～■ (先着200人)
- 10/1 特別事業 コーヒーセミナー～文豪はコーヒーとスイーツが好き!～? 講師: 佐藤文昭 (カフェ&アトリエ・ケストナー マスター) 3階第1集會室 13:00～● (要事前予約・先着20人)
- 10/9 特別講演会②「青春の出会いー成瀬正一日記からー」 講師: 石岡久子(菊池寛研究家) 3階視聴覚ホール 13:30～■ (先着200人)
- 10/22 特別事業 ミニ音楽コンサート「大正昭和の叙情ー芥川龍之介と赤い鳥ーソシテ也寸志へ」 出演: 宮崎菜通子 (ピアノソロ)、宮本早苗 (ソプラノ)、大山まゆみ (ピアノ伴奏) 3階視聴覚ホール 13:30～■ (先着200人)
- 11/23 記念講演会「菊池寛を語る」 吉川英明 (吉川英治の長男)・植村新吾 (直木三十五の甥)・菊池夏樹 (菊池寛の直孫) による座談会形式 サンポートホール高松 第1小ホール 16:30～★ (10月以降に当館及び高松市役所文化財課にて先着順で配布予定)
- <各月の文芸講座>3階第1集會室 13:30～■ (先着80人)
- 9/2 映画と歩く 講師: 中西博文 (『映画の楽校』代表)
- 10/7 「西行物語」を読む (VI) 家族の動向と往生 講師: 石川一 (奈良大学文学部教授)
- 11/4 菊池守拙「還家至室」について 講師: 田山泰三 (英明高等学校教諭)

高松市生涯学習センター ☎(087)811-6222

- 9/15 郷土の伝統工芸 讃岐かがり手まりを作ろう 講師: 讃岐かがり手まり保存会 大研修室 13:00～●
- 9/21・28・10/5 古典文学への招待 第1部「大学説話・仏教説話を読む」 講師: 谷原博信 (四国学院大学非常勤講師) 大研修室 10:00～●
- 9/22・29・10/6・13・20 簡単な脳トレ! 立体折り紙でなにつくろう? 講師: 木村亨(一級紙技士) 実習室 13:30～●
- 10/12・19・26 古典文学への招待 第2部「歴史物語を読む」 講師: 谷原博信 (四国学院大学非常勤講師) 大研修室 10:00～●
- 10/19・26・11/2 歴史に学ぶ人生の知恵 講師: 谷原博信 (四国学院大学非常勤講師) 大研修室 13:30～●
- 10/6・13・27 あなたにも描けるはがき絵 講師: 馬越直子 実習室 10:00～■ (要材料費)
- 10/26 まなび映画CAN⑦「地下鉄に乗って」 多目的ホール 13:30～■
- <高松市民大学2017>多目的ホール 13:30～■
- 9/9 「日本文化の中うどん」 講師: 佃昌道 (日本うどん学会会長 高松大学・高松短期大学学長) 「戦国期の井伊とその後」 講師: 母利美和 (京都女子大学文学部史学科教授) 「イスラム世界の社会関係とジェンダー: イランを中心に」 講師: 中西久枝 (同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授)
- 9/23 「戦国期の井伊とその後」 講師: 母利美和 (京都女子大学文学部史学科教授)
- 9/30 「イスラム世界の社会関係とジェンダー: イランを中心に」 講師: 中西久枝 (同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授)

栗林公園観光事務所 ☎(087)833-7411

- 11/23～12/3 栗林公園 秋のライトアップ 栗林公園内 21:00まで (入園は20:30まで)●

玉藻公園 ☎(087)851-1521

- 9/2 菊作り講習会 披雲閣 9:30～
- 10/14～11/20 第62回高松市菊花展競技会 二の丸跡 10/20 披雲閣オリジナルコンサート2017 19:00～●
- 11/5 屋島ライオンズクラブ茶会 披雲閣

公益財団法人香川県教育会館 ☎(087)833-0013

- <ミュージアム>
- 9/3 桂こけ枝独演会 (落語会) 14:00～●
- 10/7 第11回香川県親守詩優秀作品発表会 13:00～●
- 10/15 第27回グレンツェンピアノコンクール本選課題曲公開レッスン 13:00～●
- 11/19 香川県高校放送コンテスト 9:00～●

高松市文化財課 ☎(087)839-2660

- 9/10 ひょうげ祭り 浅野地区集落研修センター～新池 14:00～■
- 9/23 田井の子供神楽 六萬寺境内 (高松市牟礼町牟礼) 12:00～■
- <ふるさと探訪> 9:30～■
- 9/3 「秋の最明寺と藤澤東成の史跡を訪ねる」 塩江支所 (予定)
- 10/29 「奥池周辺(東植田)を訪ねる」 集会所未定
- 11/19 「三木町池戸を歩く」 集会所未定
- <平成29年度市民文化財教室>
- 9/30 第1回「細川氏の支配と国人領主の台頭」 サンクリスタル高松3階第1集會室 13:30～●
- 10/7 第2回「西讃の戦国武将とその城」 生涯学習センター「まなびCAN」 2階大研修室 10:00～●
- 10/28 第3回「東讃の戦国武将とその城」 サンクリスタル高松3階視聴覚ホール 10:00～●
- 11/4 第4回「四国乱後記讃州諸家興廃伝」 サンクリスタル高松3階視聴覚ホール 10:00～●

高松市埋蔵文化財センター ☎(087)-823-2714

- 9/19～H30.4.6 平成29年度高松市埋蔵文化財センター後期展 奥の坊遺跡の世界一弥生時代の屋島周辺を考えるー 四番丁スクエア2階展示室 9:00～■
- 11/3 屋嶋城築城1350年記念 シンポジウム「667年に築かれた3つの山城に迫る」 記念講演: 西谷正 (九州大学名誉教授) パネルディスカッション: 山田隆文 (奈良県立橿原考古学研究所)、田中淳也 (対馬市教育委員会)、渡邊誠 (本市文化財課) コーディネーター: 藤井雄三 (高松短期大学講師) サンポートホール高松 第1小ホール 13:00～■
- <平成29年度 連載講座 探求! たかまつ遺産>
- 9/23 第1回「国分尼寺の構想と実像」 講師: 須田勉 (元国分寺大学教授) 内容: 聖武天皇の思い描いた国分尼寺の理想と現実とは。発掘調査成果から解き明かす。 サンクリスタル高松3階 視聴覚ホール 10:00～■
- 10/15 第2回「高松城と披雲閣」 講師: 谷直樹 (元大阪市立大学教授) 内容: 江戸時代に高松城三の丸に築かれた披雲閣と、大正時代に同じ場所に再建された披雲閣の対比。 玉藻公園披雲閣大書院 10:00～■ (入園料要)
- 11/25 第3回「相作馬塚古墳の堅穴式石室からみた瀬戸内海地域と朝鮮半島の関係」 講師: 高田寛太 (国立歴史民俗博物館研究部准教授) 内容: 鶴市町の未盗掘墳から、当時の国際交流を紐解く。 サンクリスタル高松3階 視聴覚ホール 14:00～■

高松市文化芸術振興課 ☎(087)839-2636

- <サンポートホール高松>
- 10/1 柳家花緑 独演会 第1小ホール 14:00～●
- 10/5～10 創立50周年記念 日本いけばな芸術四国展 サンポート高松・玉藻公園・栗林公園 10:00～■ (玉藻公園、栗林公園は別途入園料要) SUNPORT AUTUMN JAM 大型テント広場 12:30～(予定)■
- 10/22 瀬戸フィル ティータイムコンサート 第2小ホール 11:00～13:30～●
- 11/19 サクソフオーン四重奏 クワチュール・ペー 第1小ホール 14:00～●
- <高松国分寺ホール>
- 9/24 国分寺マルシェ 玄関前広場 10:00～■
- 9/24 音の祭り 14:00～●
- 9/30 映画上映会「この世界の片隅に」 10:00～、14:00～●
- 10/4 観月茶会・レコード鑑賞会 エントランスロビー 18:30～■
- 11/3 落語会 (桂雀三郎ほか) 14:00～●
- 11/18 ロビーセミナー エントランスロビー 10:00～●

NHKふれあいギャラリー ☎(087)825-0160

- 9/19～24 第21回西文人水墨画教室展 9:30～●
- 9/26～10/1 NHK文化センター水墨画・墨影画作品展 9:30～●
- 11/1～5 大河ドラマ「直虎」巡回展 NHK高松放送局 9:30～■

かをり園 ☎(087)821-5957

- 9/13～17 園茶の湯総合展 恒例となりました新古茶道具 五百余点を一同に展示即売致します (大特価コーナー設置) 御坊町福善寺2階 10:00～■

桜ショップ高松店 ☎(087)831-8866

- 11/10～16 「村尾一哉 うつわ展」 陶から日常使いの器まで 10:00～■

ギャラリーen ☎(087)851-3711

- 10/5～12 渡辺愛子 作陶展 (陶芸) 10:00～■
- 11/1～5 川添日記 作品展 (草木彫り) 10:00～■
- 11/17～24 赤木明登 漆展 (漆器) 10:00～■
- <杜のとなり>
- 9/13～16 李賢静 作品展 (韓国雑貨) 10:00～■
- 10月中旬 真木ケイタイルスタジオ染織展 (衣服) 10:00～■
- 11/13～19 中島あずさ 帽子展 (帽子) 10:00～■

珈琲倶楽部檜 ☎(087)823-0160

- 10/11～22 ヒロコ100%編みもの 10:00～■
- 11/15～24 オリブを食べながら・・・手作り二人展 10:00～■

高松市讃岐国分寺跡資料館 ☎(087)874-8840

- 11/4 第18回讃岐国分寺史跡まつり (雨天時11/5順延) 当館及び史跡公園内 8:10～

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎(087)879-0717

- 9/30～10/31 イベント「古本まつり」1階ロビー 9:00～■
- <2階市民ギャラリー>
- 9/2～23 企画展「よみがえり! ガソリンカー展」 9:00～■
- 9/26～10/1 企画展「第18回 香南文化交流展」 9:00～■
- 10/7～9 企画展「第21回 土遊会 陶芸展」 9:00～■
- 10/14～12/3 企画展「日本刀展 (仮称)」 9:00～■

高松市塩江美術館 ☎(087)893-1800

- ～12/17 [平成29年度第II期常設展] 耳をすませば 9:00～●
- 9/12～10/22 [企画展] 第31回 思可卒展 9:00～●
- 関連イベントの申込みは9/1から電話受付
- 9/24 コンテンポラリーダンス&ワークショップ 9/17 あなたの身分が美術館に出現! 10/15 日常にあるもの美術作戦!
- 10/31～12/10 [企画展] 所幸則展 (仮) 9:00～●

高松市石の民俗資料館 ☎(087)845-8484

- 9/15～24 共催展「長月展」絵を楽しむ会キャラット・墨友会 企画展示室 9:00～■
- 10/7～11/19 企画展「石の里のアーティストたち『テーマ・庵治石 Part16』 芝生広場 9:00～■
- 10/8 SWJOPジャズコンサート エントランスホール 14:00～■
- 10/29 アーティストトーク 芝生広場 13:00～■
- 10/29 ネコレレ&三味線コンサート エントランスホール 14:00～■
- 11/5 アーティストトーク 芝生広場 13:30～■
- 11/5 ワークショップ「石あかりを作ろう」 講座研修室 14:00～■
- 10/7～11/19 企画展「伏石康男 遺作彫刻展」 企画展示室 9:00～●
- 10/21 資料館コンサート 音楽の贈り物～風薫る歌とピアノのハーモニー～ エントランスホール 18:30～●
- 9/8, 10/13, 11/10 古文書を読む会(5～7)江戸時代の和歌等を読み解いて 講師: 加藤 優 (元徳島文理大学教授) 講座研修室 14:00～●

土庄町教育委員会 ☎(0879)62-7013

- 12/10 第25回 土庄町音楽フェスティバル 土庄町立中央公民館大ホール 13:00～■

さぬき市志度音楽ホール ☎(087)894-1000

- 9/10 ニューアーティストリサイタルVol.26 佐藤采音フオーニウムリサイタル14:00～●
- 11/23 共催事業 映画「この世界の片隅に」 10:30～、13:30～(料金未定)
- 12/3 ニューアーティストリサイタルVol.27 香川恵理フルトリサイタル 14:00～●

東かがわ市教育委員会生涯学習課 ☎(0879)26-1238

- 11/11 鳥羽一郎・山川豊兄弟特別コンサート 東かがわ市交流プラザ (東かがわ市湊1806-2) 多目的ホール 12:30～、16:00～●

坂市建設経済産業課にぎわい室 ☎(0877)44-5015

- ～9/10 坂出今昔展 中央公民館 9:30～■
- 9/17, 10/15, 11/19 崇徳上皇の足跡と国宝神宮神社をめぐる 坂出市観光案内所 9:30～●
- 10/3～7 香風園観月会 香風園 18:00～■
- 11/4 能楽公演 青海神社 14:00～●

坂市教育委員会文化振興課 ☎(0877)44-5036

- 9/23 囲碁サミット2017 inさかいで 坂出グランドホテル 13:00～■
- 10/7～9 演劇大学inさかいで 市民ふれあい会館、勤労福祉センター 時間・料金は講座により異なる●

財団のお知らせ

平成二十九年 財団賞が決定 第二十五回

香川県の地域文化の振興と発展に、十五年以上継続して貢献された方を対象に贈られる財団賞が、去る八月七日の理事會に於いて左記の二名に決定いたしましたので、お知らせします。

■ 荒木永子さん

讃岐かがり手まり保存会 代表
推薦 高松市教育委員会教育長 藤本泰雄氏
内容 讃岐かがり手まりは、近年香川県の伝統工芸品にも認定。讃岐三白のひとつ木綿糸を草木染めで作られる素朴な手まりを多くの人に伝え、その技法の伝承にも尽力されている。

■ 久保宗照さん

玉藻公園抹茶お接待 宗家石州流高松地区長推薦 史跡高松城玉藻公園指定管理者・香川県造園事業協同組合代表理事 森 茂氏
内容 平成十三年より春と秋の気候の良い日曜日に玉藻公園水門横に於いてボランティアで抹茶接待を行い訪れる観光客らに喜ばれ、現在も継続されている。

今秋、財団の設立記念日に近い十月二日に茶室・晴松亭の立礼席に於いて、財団賞授与式が行われます。奨励金は二十万円。また、併せて春に選出された助成金交付団体認定証の授与式も行われます。

* * *

さて、財団賞は、讃岐の文化発展をバックアップする為に財団の設立当初から設置された文化活動奨励事業です。財団賞につきましては、県内の各教育

中條文化振興財団

茶席設立二十周年記念企画 野村美術館茶会のご案内

京都東山の南禅寺の側にある野村美術館は現在改修工事中です。

茶の湯の世界は、明治時代に大きく変化しました。廃藩置県で大名の保護を失って、一時的に疲弊した時代です。それに替わる財閥の数寄者は日本文化の大きな手となりました。海外に流出しようとする大名の名宝を水際で阻止した財界人の多くが、数寄者として茶の湯に親しみましたが、野村得庵翁は、その代表格でした。経済人として活躍しながら、文化人として能やお茶に精通し、その活動は当時の政治経済を担う人達に大きく影響を与えました。

そのコレクションを保存、公開しているのが野村美術館です。昨年の財団の夏期講習でお話いただいた谷館長さんが今年、いよいよ高松でお茶会を開いて下さる事になりました。

地方で釜をかけていただくのは、今後はあり得ないような貴重な機会だと思えますので、是非ともご参加下さい。

日時 十一月十二日(日)
場所 美藻庵・晴松亭当財団茶室
席主 野村美術館館長 谷 晃
茶席 濃茶・薄茶・点心席
会費 二万円
入席時間ご案内

第一席 九時 第二席 九時五十分
第三席 十時四十分 第四席 十一時三十分
第五席 十二時二十分 第六席 十三時十分
第七席 十四時 第八席 十四時五十分
各席十五名・二間三十分を予定

編集後記

猛暑の夏もお盆を過ぎ、朝夕は草むらから虫の音が聞こえるようになりました。

そんな暑さの中、今年も「茶の湯をさらに楽しむ夏期講習」が開かれました。そこには熱心に講師のお話しに聞き入る皆様の姿がありました。それぞれの分野の第一人者のお話しを聴くことは、お茶を習われている方はもちろんですが、そうでない方にとっても、とても有意義なことだと思います。

お話しの内容はもちろん、お人柄も感じ取ることが出来る良い機会になります。

来年もたくさんの方のご参加がありますように願っています。

「声・情報お寄せください」

〒760-0017 高松市番町二丁目一―二
公益財団法人 中條文化振興財団編集部
TEL (087) 8266-3355
FAX (087) 8266-2212
info@chujo-zaidan.or.jp